Ｒ５広報あさひに関するアンケート結果

●アンケートの目的

広報あさひの発行にあたり、市民（読者）の実態や意向を把握し今後の紙面づくりに役立てるため、アンケートを実施した。

●調査対象、方法、期間

調査対象／市民 237 人

調査方法／本庁舎、総合体育館、旭市サッカー場、市民会館、海上公民館、干潟公民館、
いいおかユートピアセンターの施設利用者に対し実施

調査期間／令和５年６月１５日～７月３１日　（237 件回収）

●設問について

性別、年齢、住んでいる地域

問１　広報あさひを読んでいるか

問２　内容に満足か

問３　改善してほしいところは何か

問４　市の PR について知っているか

●集計に関して

アンケートでは、複数選択を求める設問がいくつかあるが、本アンケート調査の趣旨に鑑み、選択した数にかかわらず全て有効回答とした。

また問１・問２については、読者層の分析のため男女、年代ごとにクロス集計を行った。

その他自由意見については、広報あさひに係る主な意見を抜粋して記載した。

●回答者の概要

・性別　（単位：人）

男性	女性	無回答	計
92	127	18	237

・年齢　（単位：人）

10. 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	無回答	計
40	40	39	21	41	52	4	237

・地域　（単位：人）

旭	海上	飯岡	干潟	無回答	計
126	26	45	8	32	237

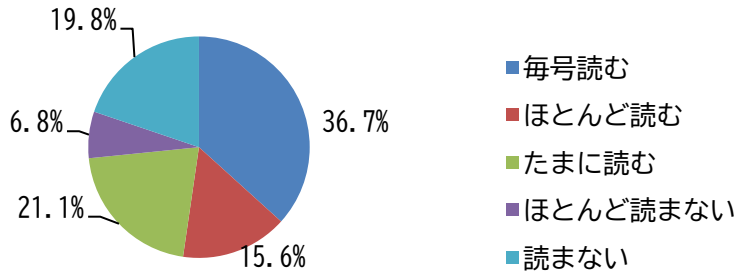
●調査結果

問１　広報あさひを読みますか

＜単純集計＞　　人（%）

年度	①毎号読む	②ほとんど読む	③たまに読む	④ほとんど読まない	⑤読まない	⑥その他	計
R5	87	37	50	16	47	0	237
（割合）	（36.7）	（15.6）	（21.1）	（6.8）	（19.8）	（0.0）	（100.0）
R4	122	31	29	16	22	1	221
（割合）	（55.2）	（14.0）	（13.1）	（7.3）	（10.0）	（0.4）	（100.0）

読者率

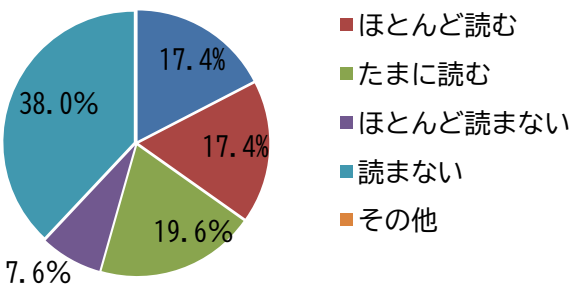


毎号読む（36.7%）は昨年度（55.2%）と比べ 18.5 ポイントの減少となった。ほとんど読む（15.6%）は昨年度（14.0%）に比べ 1.6 ポイント増加した。読まない（19.8%）は昨年度(10.0%)に比べ 9.8 ポイント増加した結果であった。10 台・20 代からの回答が増加し、若年層向けの内容が少ないことなども、読者率減少要素の一つと推測されるが、広報の購読率は一定の水準を保っている。

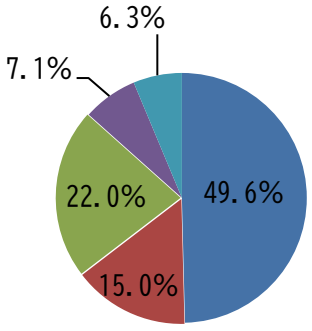
＜男女別＞　　人（%）

性別	①毎号読む	②ほとんど読む	③たまに読む	④ほとんど読まない	⑤読まない	⑥その他	計
男	16	16	18	7	35	0	92
（割合）	（17.4）	（17.4）	（19.6）	（7.6）	（38.0）	（0.0）	（100.0）
女	63	19	28	9	8	0	127
（割合）	（49.6）	（15.0）	（22.0）	（7.1）	（6.3）	（0.0）	（100.0）

男



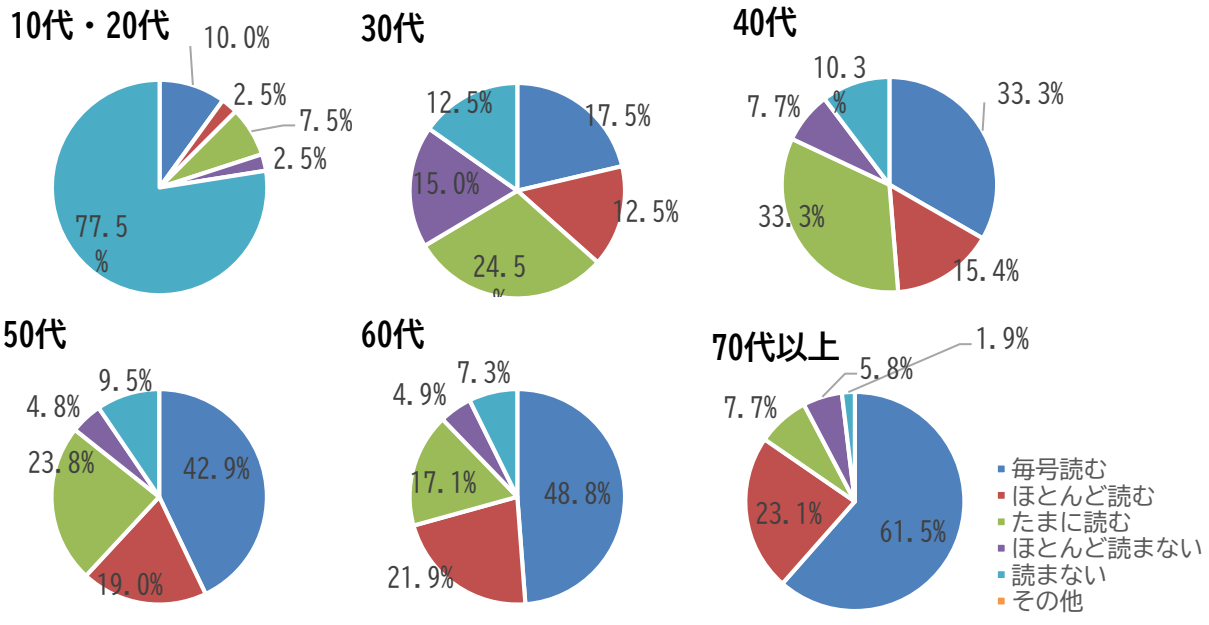
女



毎号読む・ほとんど読む人の割合は、男性 34.8%、女性 64.6%と女性のほうが多かった。読まない・ほとんど読まない人も男性が 45.6%と多かった。広報の内容で、子育て世代向けの記事や女性向け講座の掲載が増えていることなどが要因と推測される。

＜年代別＞　　人（%）

年代	①毎号読む	②ほとんど読む	③たまに読む	④ほとんど読まない	⑤読まない	⑥その他	計
10・20	4	1	3	1	31	0	40
（割合）	(10.0)	(2.5)	(7.5)	(2.5)	(77.5)	(0.0)	(100.0)
30	7	5	17	6	5	0	40
（割合）	(17.5)	(12.5)	(24.5)	(15.0)	(12.5)	(0.0)	(100.0)
40	13	6	13	3	4	0	39
（割合）	(33.3)	(15.4)	(33.3)	(7.7)	(10.3)	(0.0)	(100.0)
50	9	4	5	1	2	0	21
（割合）	(42.9)	(19.0)	(23.8)	(4.8)	(9.5)	(0.0)	(100.0)
60	20	9	7	2	3	0	41
（割合）	(48.8)	(21.9)	(17.1)	(4.9)	(7.3)	(0.0)	(100.0)
70以上	32	12	4	3	1	0	52
（割合）	(61.5)	(23.1)	(7.7)	(5.8)	(1.9)	(0.0)	(100.0)
年代	2	0	1	0	1	0	4
不明	(50.0)	(0.0)	(25.0)	(0.0)	(25.0)	(0.0)	(100.0)
計	87	37	50	16	47	0	237
	(36.7)	(15.6)	(21.1)	(6.8)	(19.8)	(0.0)	(100.0)



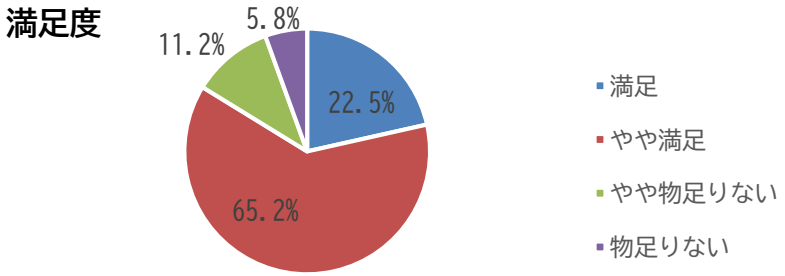
年代が上がるにつれ、広報を毎号読む人の割合が高くなっている。毎号読む人とほとんど読む人の割合は、10・20代12.5%・30代30.0%・40代48.7%・50代61.9%・60代70.7%・70代以上84.6%であった。50代を除いた全ての年代については、平均42件と一定数の回収ができたため、若い世代から70代以上の世代の意識の差をより平準的に表す調査となった。

今後も引き続き高齢者をターゲットとした情報発信を心掛けるとともに、若い世代にも興味を持って読んでもらえるような工夫が必要と思われる。

問2　問1で①～③と答えた方にお伺いします。
広報あさひの内容は満足ですか。

＜単純集計＞　　**人（%）**

年　度	①満足	②やや満足	③やや物足りない	④物足りない	計
R5	40	116	20	2	178
（割合）	（22.5）	（65.2）	（11.2）	（1.1）	（100.0）
R4	55	109	20	0	184
（割合）	（29.9）	（59.2）	（10.9）	（0.0）	（100.0）

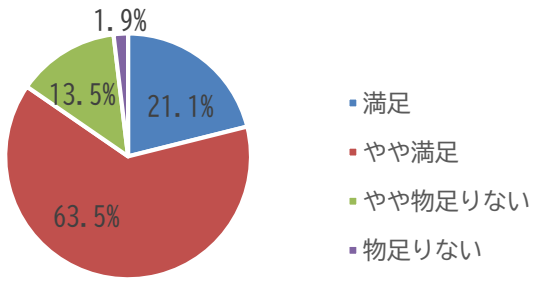


満足（22.5%（昨年度より△7.4%））・やや満足（65.2%）を合わせると、定期読者の約87.7%の人が広報あさひに満足しているといえる。現在の読者の要望に答えつつ、更なる紙面の工夫を行い物足りないと感じることがないようにしていく必要があると思われる。

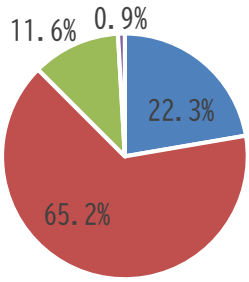
＜男女別＞　　**人（%）**

	①満足	②やや満足	③やや物足りない	④物足りない	計
男	11	33	7	1	52
（割合）	（21.1）	（63.5）	（13.5）	（1.9）	（100.0）
女	25	73	13	1	112
（割合）	（22.3）	（65.2）	（11.6）	（0.9）	（100.0）
性別無回答	4	10	0	0	14
	（28.6）	（71.4）	（0.0）	（0.0）	（100.0）

男



女

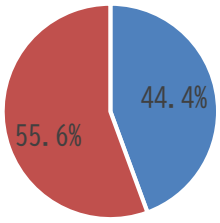


満足・やや満足と回答した人の割合は、男 84.6%、女 87.5%と男女共に高い割合だった。引き続き読者率の高い女性に支持される紙面づくりを意識していく必要がある。

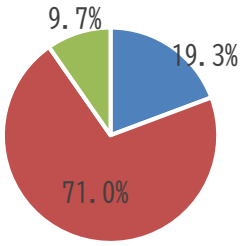
＜年代別＞　　人（%）

年代	①満足	②やや満足	③やや物足りない	④物足りない	合計
10・20	4	5	0	0	9
（割合）	(44.4)	(55.6)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
30	6	22	3	0	31
（割合）	(19.3)	(71.0)	(9.7)	(0.0)	(100.0)
40	8	21	4	0	33
（割合）	(24.2)	(63.7)	(12.1)	(0.0)	(100.0)
50	5	10	3	0	18
（割合）	(27.8)	(55.5)	(16.7)	(0.0)	(100.0)
60	7	23	4	1	35
（割合）	(20.0)	(65.7)	(11.4)	(2.9)	(100.0)
70 以上	9	35	5	0	49
（割合）	(18.4)	(71.4)	(10.2)	(0.0)	(100.0)
年代不明	1	0	1	1	3
	(33.4)	(0.0)	(33.3)	(33.3)	(100.0)
計	40	116	20	20	178
	(22.5)	(65.2)	(11.2)	(1.1)	(100.0)

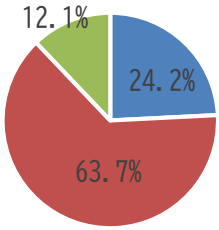
10代・20代



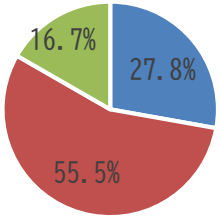
30代



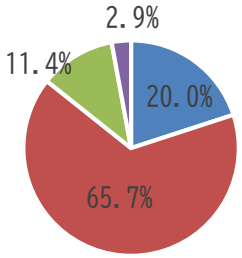
40代



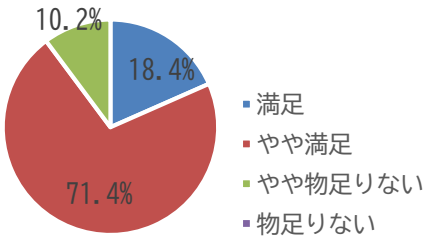
50代



60代



70代以上



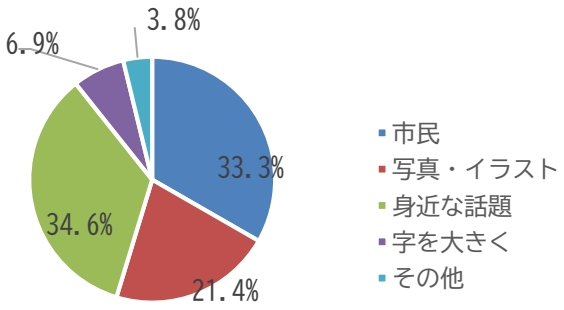
全ての世代で満足・やや満足と感じている方が 80%以上と高い水準を維持しており、多くの世代が広報あさひに満足しているといえる。しかし、40 台以上の世代では、やや物足りないと感じている方も一定割合いるため、満足と感じてもらえるコンテンツや情報を分析し掲載していく必要がある。

問３　問２で③、④と答えた方にお伺いします。

改善してほしいもので当てはまるもの 2 つまで答えてください。　　件（%）

年度	①市民を多く取り上げて	②写真やイラストを多く使って	③身近な話題を取り上げて	④文字を大きく	⑤その他	計
R5 （割合）	53 （33.3）	34 （21.4）	55 （34.6）	11 （6.9）	6 （3.8）	95 （100.0）
R4 （割合）	22 （23.2）	14 （14.7）	50 （52.6）	4 （4.2）	5 （5.3）	95 （100.0）

改善要望

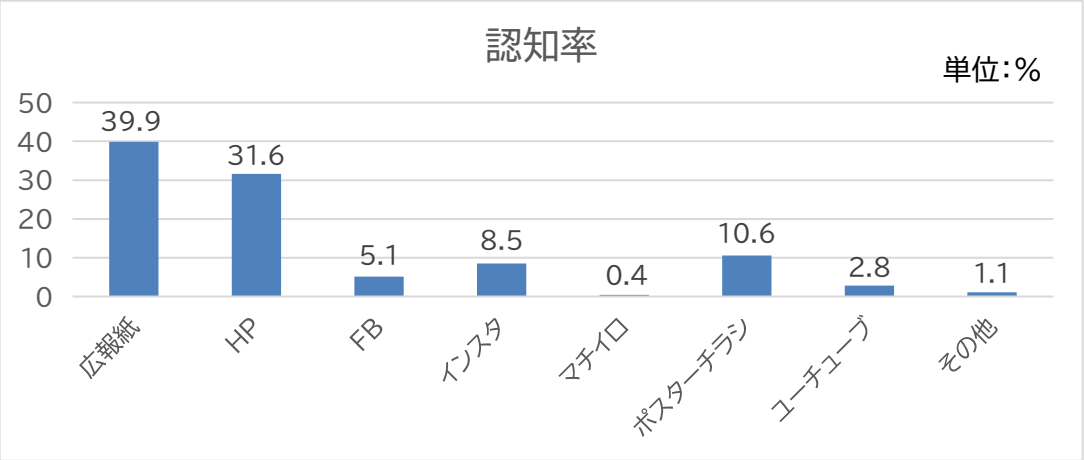


問２で③やや物足りない、④物足りないと答えた人の改善してほしい点で多かった回答は、身近な話題を取り上げてほしい 34.6%、市民を多く使ってほしい 33.3%であった。

市内で活躍する人を紹介するコーナーや見聞録でも当事者のインタビューを掲載するよう工夫している。ＳＮＳなどで市民の身近な話題を見つけ情報を多く掲載できるように心がけたい。

問４　市が行っているＰＲについて、知っているものを全て答えてください。複数回答

	広報紙	ＨＰ	ＦＢ	インスタ	マチイロ	ポスターチラシ	ユーチューブ	その他	計
回答数	173	137	22	37	2	46	12	5	434
認知率	39.9%	31.6%	5.1%	8.5%	0.4%	10.6%	2.8%	1.1%	100%



広報紙については、39.9%と半分以下の認知度であった。10 代から 30 代の若い世代に認知されていなことが原因として考えられる。ＨＰについては、31.6%が知っていると回答。ＦＢ・インスタ・マチイロ、ユーチューブについてはまだ知っている人が少ない。昨年運用を開始した公式ＬＩＮＥによりプッシュ型の周知による積極的な情報発信と更なるＰＲが可能となった。

◎その他自由意見

・経費節減のため冊子は不要(60 代)
・子育てに役立つ情報をたくさん掲載してほしい(40 代女性)
・毎号楽しみにしている。地域の情報を知れるので助かる(40 代男性)
・料理欄(15 日号ヘルシーレシピ)をカラーにしてほしい(60 代)
・行政情報以外の情報も掲載されていて読むのが楽しい(50 代女性)
・新聞購読者が減少していため配布方法に工夫が必要(70 代)
・ＦＢは利用者が減っているのでＬＩＮＥによる発信を充実させてほしい(30 代女性)